

課題

- ・就学相談の充実及び入学後のフォローアップの充実が求められる
- ・教員の専門性や指導力の向上が不可欠である
- ・支援学級数増加に伴う支援体制の充実を図る必要がある(451学級から481学級(27年9月調査・28年度設置予定数))
- ・第4次堺市障害者長期計画、障害者差別解消法の趣旨に沿った支援を実施する必要がある

目的

- ・保護者が安心できる就学相談、教育相談の充実
- ・障害のある児童生徒への十分な教育環境の構築
- ・支援学級の運営支援

教育環境の整備

介助員(支援学級付き)

- ・支援学級に在籍する児童生徒の増加や、障害の重度・重複化に対応するため、介助員を増配置(158人から170人)し、支援学級の支援充実を図る

行事参加車両借上げ

- ・車いす等を使用する児童生徒が、校外学習や宿泊学習等へ参加するための中型タクシーやリフト付きバスの借上げ費用を補助する

小中支援学校宿泊学習支援

- ・医療的ケアの必要な児童生徒が、宿泊学習に安心して参加できるように看護師を派遣する

医療的ケア体制整備推進

- ・医療的ケアが必要な児童生徒に対し、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう看護師を派遣する

相談体制の充実

就学支援

- ・支援教育アドバイザーを配置し、就学相談、入学後のフォローアップ、教育相談の充実を図るとともに、支援学級担当教員等への指導・助言を行う

専門性の向上

教員研修

- ・支援学級担任、管理職等へ特別支援教育に関する研修を充実し、専門性や指導力の向上を図る